

平成21年 5月28日

## 平成20年度四国地域の電力需給の動向

～総需要電力量、前年度を下回る～

四国地域の平成20年度の総需要電力量(電気事業者の販売電力量+自家発電電力量)は、366.6億kWhとなり、前年度比3.4%減となった。

大口需要(自家発電電力量含む)は、163.2億kWhとなり、前年度比5.8%減となった。

1. 総需要電力量は、7月から8月上旬の高気温による空調需要の増加があったものの、1月下旬から3月上旬の気温が前年度に比べ高めに推移したことによる空調需要の減少や生産調整による大口需要など産業用需要が減少したことから前年度を下回った。
2. 大口需要は、食料品製造業、鉄鋼業が前年度並みを維持したものの、これら以外のすべての業種で減少したことから前年度比5.8%減となり、過去5年間で初めて前年度を下回った。
3. 自家発電電力量は、生産調整の影響があったものの、一部の事業者が大型自家発を新設したことにより、前年度比0.9%増となった。  
なお、自家用発電所数は、106となり前年度比7.0%減となった。

【総需要、大口需要、自家発電電力量、自家用発電所数】

	実績	前年度比(%)
総需要(億kWh)	366.6	▲ 3.4
大口需要(億kWh)	163.2	▲ 5.8
自家発電電力量(億kWh)	68.0	0.9
自家用発電所数	106	▲ 7.0

(本発表資料のお問い合わせ先)

資源エネルギー環境部 電力開発計画室

担当者：近藤室長、久保係長

電話：087-811-8533(直通)

URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

用途別需要実績（平成20年度）

用途	四国			全国		
	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年度比 (%)	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年度比 (%)
電灯	9,565,194	26.1	99.1	285,288,174	28.2	98.5
低圧	1,317,709	3.6	94.8	33,213,610	3.3	93.1
その他	692,917	1.9	96.3	14,569,082	1.4	103.5
電力計	2,010,626	5.5	95.3	47,782,692	4.7	96.1
電灯電力計	11,575,820	31.6	98.4	333,070,866	32.9	98.1
特定規模需要	18,292,319	49.9	94.4	571,691,187	56.5	96.0
販売電力量	29,868,139	81.5	95.9	904,762,053	89.4	96.8
自家発	6,796,039	18.5	100.9	107,474,784	10.6	93.2
総需要	36,664,178	100.0	96.6	1,012,236,837	100.0	96.4
大口需要	16,321,396	44.5	94.2	407,390,577	40.2	93.5

資料出所：（全国実績）「電力調査統計（資源エネルギー庁）」

- （注）
1. 自家発とは1000kW以上の自家発自家消費電力需要。
  2. 特定規模需要とは特別高圧電線路又は高圧電線路から受電する、使用最大電力が原則50kW以上の需要。
  3. 大口需要とは主として動力を使用する需要で、契約電力（出力）が500kW以上の需要と自家発の合計。
  4. 四捨五入の関係で集計値とその合計値は必ずしも一致しない。

大口需要主要業種別内訳（平成20年度）

業種	四国			全国		
	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年度比 (%)	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年度比 (%)
食料品製造業	511,969	3.1	99.8	19,853,296	4.9	99.3
繊維工業	126,912	0.8	83.5	2,865,845	0.7	87.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	5,651,024	34.6	93.1	27,877,543	6.8	93.4
化学工業	3,793,906	23.2	92.6	59,895,056	14.7	93.7
石油製品・石炭製品製造業	730,145	4.5	95.3	10,503,586	2.6	101.4
窯業・土石製品製造業	543,903	3.3	91.3	17,749,333	4.4	94.0
鉄鋼業	980,684	6.0	101.0	73,643,540	18.1	89.3
機械器具製造業	1,789,101	11.0	96.5	83,121,516	20.4	91.3
その他	2,193,752	13.4	95.1	111,880,862	27.5	96.6
合計	16,321,396	100.0	94.2	407,390,577	100.0	93.5

資料出所：（全国実績）「電力調査統計（資源エネルギー庁）」

- （注）業種別分類は、日本標準産業分類の分類方法に準じて分類している。

用途別需要実績前年度比（四国）

用 途	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度
電灯	99.1	103.5	99.1	102.6	103.5
低圧	94.8	103.0	91.1	—	—
その他	96.3	95.3	98.3	—	—
電力計	95.3	100.3	93.6	—	—
電灯電力計	98.4	102.9	98.0	—	—
特定規模需要	94.4	102.0	102.6	—	—
販売電力量	95.9	102.4	100.8	103.0	103.5
自家発	100.9	104.6	94.6	95.1	99.3
総需要	96.6	102.8	99.7	101.5	102.6
大口需要	94.2	102.7	100.4	100.7	101.7

(注) 1. 平成16年4月及び平成17年4月に自由化範囲の契約電力がそれぞれ500kW、50kWに拡大されたため、前年同期比が算出できない項目がある。

2. 用途別需要実績及び大口需要主要業種別実績の時系列データは、当局HPに掲載している。

自家用発電所数（四国）

原動力	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度	
火 力	汽 力	34	34	34	33	30
	ガスタービン	6	6	6	6	6
	内 燃 力	55	66	70	80	85
そ の 他	11	8	8	6	4	
合 計	106	114	118	125	125	

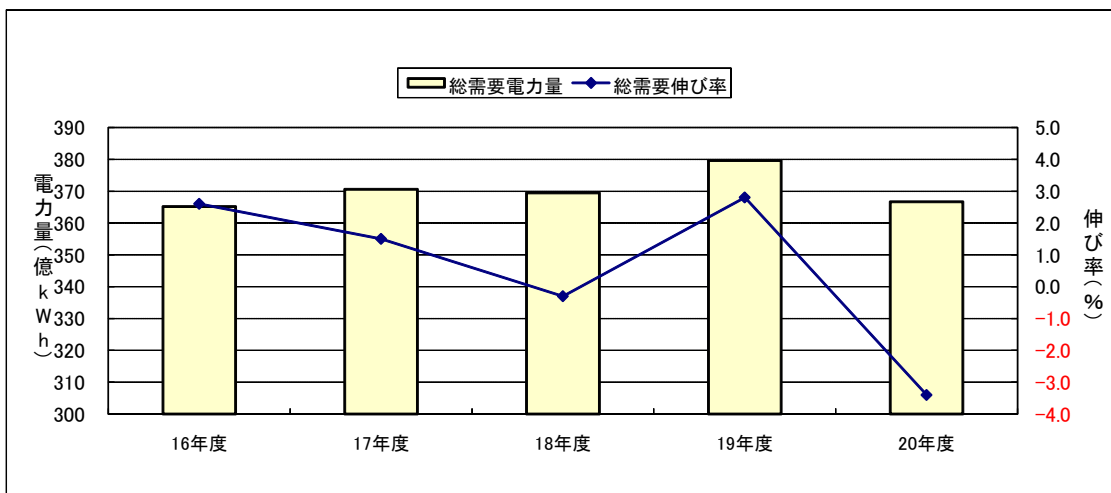
(注) 自家用発電所数は、1000kW以上の発電所を集計。

自家用発電所数前年度比（四国）

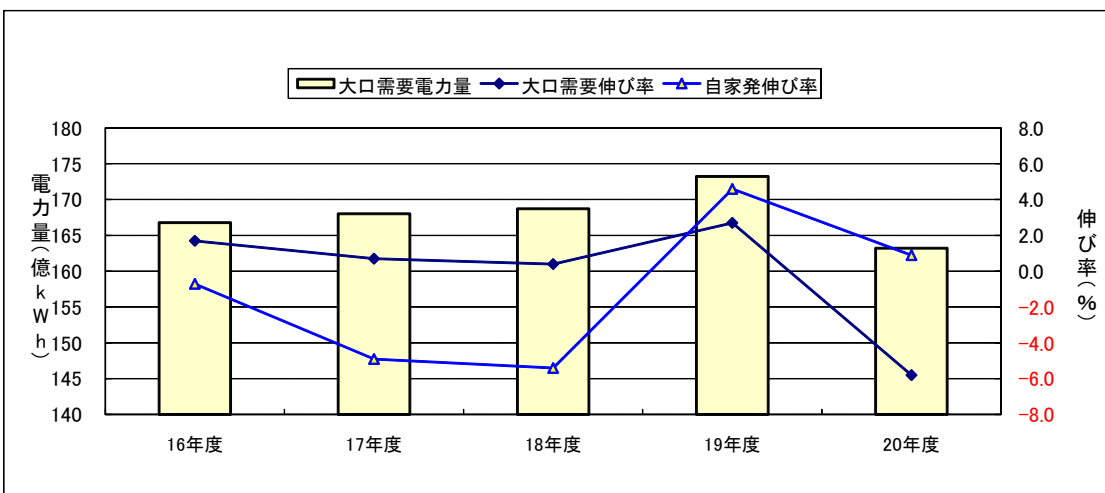
原動力	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度	
火 力	汽 力	100.0	100.0	103.0	110.0	103.4
	ガスタービン	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	内 燃 力	83.3	94.3	87.5	94.1	98.8
そ の 他	137.5	100.0	133.3	150.0	133.3	
合 計	93.0	96.6	94.4	100.0	100.8	

## 四国地域の電力需要の推移

<総需要電力量と総需要伸び率>



<大口需要電力量、大口需要伸び率及び自家発伸び率>



<大口需要主要業種別の前年度比伸び率>

